

2023 年 3 月 14 日
農 林 中 央 金 庫
福 岡 支 店

2022 年度「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」で大臣表彰を受賞

農林中央金庫（代表理事理事長 奥 和登、以下「当金庫」）は、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が公表する 2022 年度の「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に選定され、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）の表彰を受けましたのでお知らせいたします。なお、当金庫が本表彰を受けるのは、昨年度に続き 2 回目となります。

1. 本表彰の概要

地方創生の取組みについては、金融機関等の幅広い情報・ネットワークの活用による貢献が期待されており、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局においては、各地域での取組みの参考とするため、金融機関等が地方創生に関与した「特徴的な取組事例」を公表しています。

この度、当金庫福岡支店の取組みが、2022 年度の「特徴的な取組事例」に選定され、大臣表彰を受けました。

2. 当金庫の取組み

「サーモン陸上養殖事業への事業性評価ノウハウなどの多角的なソリューションの提供について」

当金庫では、「価値創造の取組み」として、世の中の社会課題や顧客等の経営課題の解決に向けて様々な取組みに挑戦しております。その解決・達成に向けては、「当金庫が持つ機能、ネットワーク、情報・ノウハウをいかに駆使すれば課題解決できるか」を真摯に考えながら、伴走者として貢献していくことを目指しております。

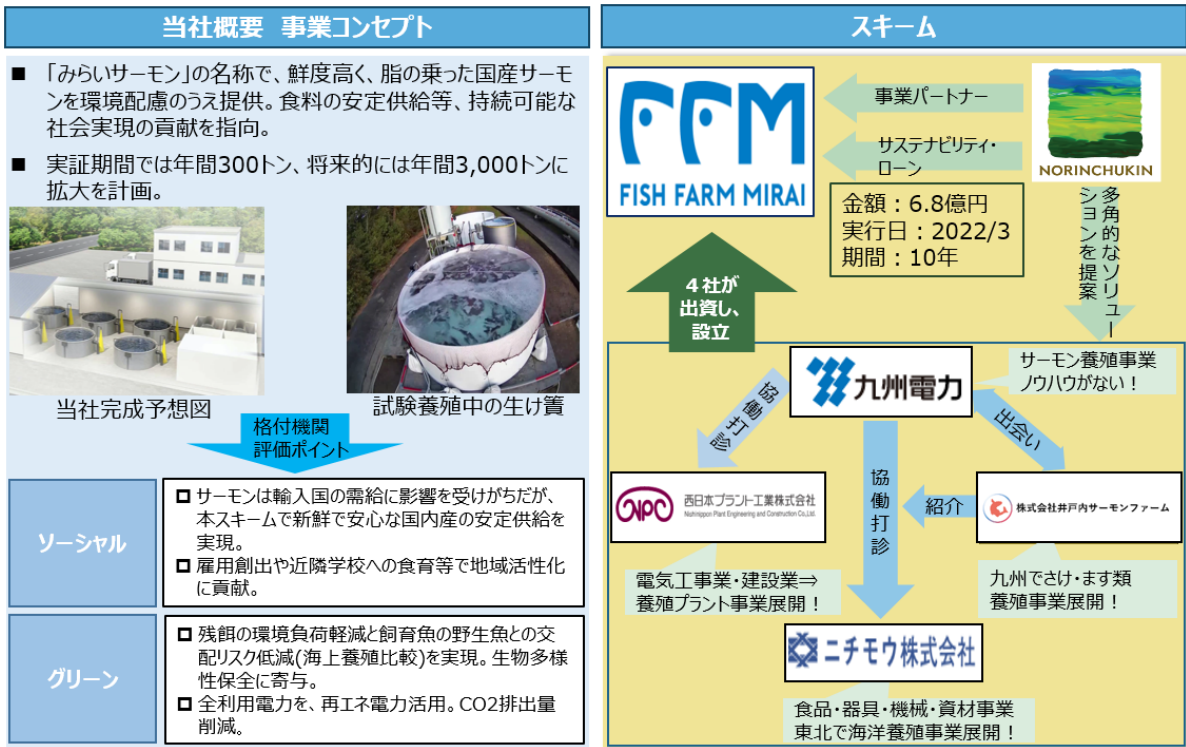
その中でも、多様な地域関係者（JA・JF・森林組合・地場企業・行政等）と連携しながら、生産者の所得向上、農林水産業全体の課題解決・活性化に貢献し、地方創生に寄与することは、特に重要な取組みとして位置付けております。

今回表彰を受けた取組みは、九州電力㈱が主導して開始したサーモンの陸上養殖事業に対し、事業化に向けた各種ノウハウ提供やファイナンス対応を行ったものです。将来食料不足が懸念される中、九州電力㈱は給餌効率が優れ、栄養分も豊富なサーモン養殖に着目。脱炭素の潮流で運用停止した火力発電所の跡地を活用したうえで、陸上養殖に取り組むことを通じ、環境負荷を低減しながら新鮮で安心なサーモンを提供していくことを目指しております。当金庫は、陸上養殖のプロフェッショナルとしてこれまでグループで蓄積してきた事業性評価ノウハウを提供するとともに、上記の環境改善効果に加え、地元の雇用創出・近隣学校への食育等地方創生に資するこの取組みに共感し、対外訴求効果を高める ESG ローン（サステナビリティ・

ローン)にて資金対応を行いました。

当金庫では引き続き全国で地域活性化・地方創生の取組みに挑戦してまいります。

【本件スキーム図】



本リリースの取組みは、SDGs（持続可能な開発目標）における以下の目標に貢献しています。



以上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 福岡支店 仲・榎本 Tel : 050-3853-0407/3428